

シエンタ モデリスタ バージョン

サイドスカート 取付要領書

設定型式:MXPC1#G、MXPL1#G 設定グレード:全車

このたびは、モデリスタ商品をお買い上げ頂きましてありがとうございます。
本書は、**サイドスカート**の取付要領について記載してあります。
取り付け前に必ずお読み頂き、正しい取り付けを行なって下さい。

取り付け上の注意事項

- 取り付け前に車両に傷がついていないか点検して下さい。
- エンジンがかかっている状態では絶対に作業を行なわないで下さい。
- 車両部品の取り外しに際して、紛失や混乱がない様に部品ごとに整理して、復元する際間違えない様配慮して下さい。また、部品に傷を付れたりしない様に取り扱いに注意して作業を行なって下さい。
- 本書で指示した部品以外は、取り外さない様注意して下さい。
- 商品を取り付ける部分の汚れ、ゴミ、ホコリをウエスで拭き取って下さい。
- エンドモール(両面テープ付き)・両面テープを貼り付ける部分は、必ず脱脂して下さい。脱脂作業を怠ると両面テープを接着しても剥がれる場合があります。
- 両面テープの接着力促進剤として、**必ず両面テープ用プライマーを塗って下さい。**
(PACプライマーN-200、K-500を本品に添付)
- 重要** プライマーの効力を発揮させる為、塗布後、**常温で10分間以上放置し乾燥させて下さい。**
- 重要** ■両面テープは、**外気温が20℃以下になると接着力が低下します**ので、両面テープ及び被接着面をドライヤー等で温めてから貼り付け作業を行なって下さい。
- 両面テープのプライマーは、溶剤が揮発するため速やかに作業を終了して下さい。
- 両面テープのプライマーは、塗装面を黄変させますので必ず塗装面をマスキングし、はみだしたプライマーは、イソプロピルアルコール(IPA)等で完全に拭き取って下さい。
- ボディーコートが塗布されている車両は**塗装用コンパウンドでボディーコートを剥離して下さい。**
(必ずマスキングし、なるべく細かい番手で行なう。) ボディーコートが塗布されている車両は脱脂作業を行なっても、プライマーの接着力促進効果を十分に発揮できない場合があります。ボディーコート除去後は、イソプロピルアルコール(IPA)等で脱脂をきちんと行なって下さい。
- 重要** ■**両面テープの圧着を充分に行なって下さい。49N(5kgf)**
- 重要** ■**フェンダーアーチ部等のビス本締めは両面テープ貼り付け後3時間以上放置後行なって下さい。**

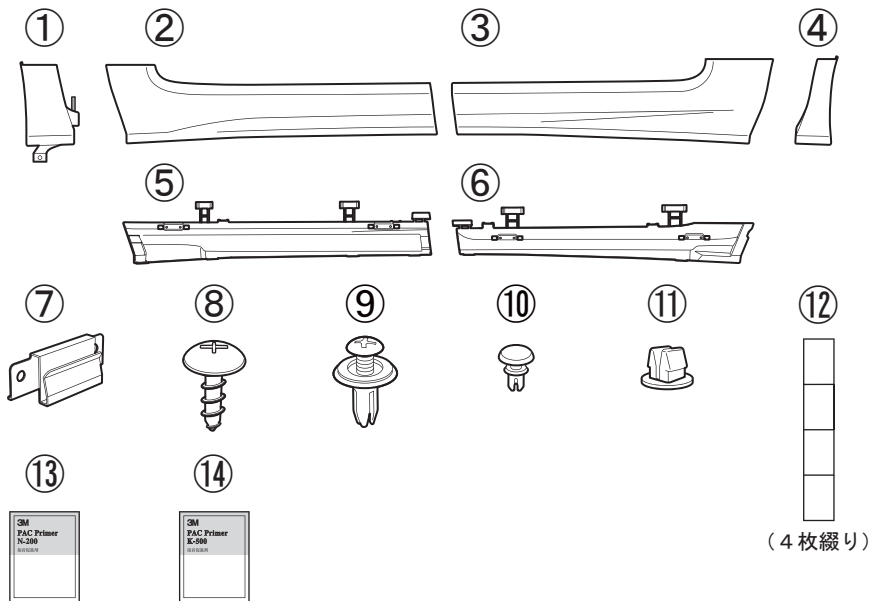
取り付け完了後の点検・注意事項

- サイドスカートが、車両に確実に共締めされているか点検して下さい。
- 両面テープの全ての離型紙が剥がされ、**確実に圧着されているか点検して下さい。**
- 取り付け完了後、**サイドスカート及び車両部品に傷がついていないか点検して下さい。**
- 取り付け完了後、**最低3時間**は強い力をかけたり、雨等で濡れない様注意して下さい。
(両面テープの剥がれ、車両とサイドスカートとの間に隙間が発生するおそれがあります。)



アドバイス…この取付要領書では、スピーディーに安全な作業をして頂く上で知っておいて頂きたい事を左図マークで表示しております。

構成部品

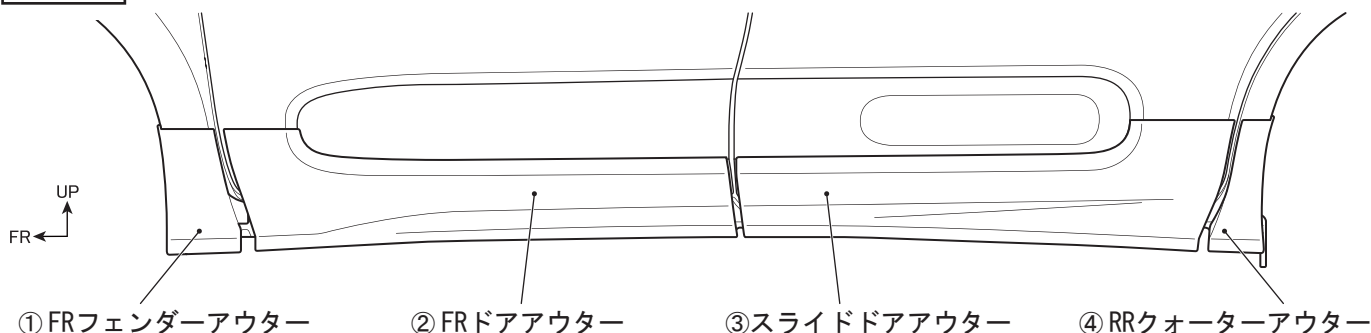


No.	品名	個数
①	FRフェンダーアウター (RH/LH)	各 1
②	FRドアアウター (RH/LH)	各 1
③	スライドドアアウター (RH/LH)	各 1
④	RRクォーターアウター (RH/LH)	各 1
⑤	FRドアインナー (RH/LH)	各 1
⑥	スライドドアインナー (RH/LH)	各 1
⑦	ブラケット	8
⑧	タッピングスクリュー (M6×16)	6
⑨	スクリベット	18
⑩	プラスチックリベット	16
⑪	グロメット	2
⑫	プロテクションフィルム	2
⑬	PACプライマー (N-200)	1
⑭	PACプライマー (K-500)	1

(4枚綴り)

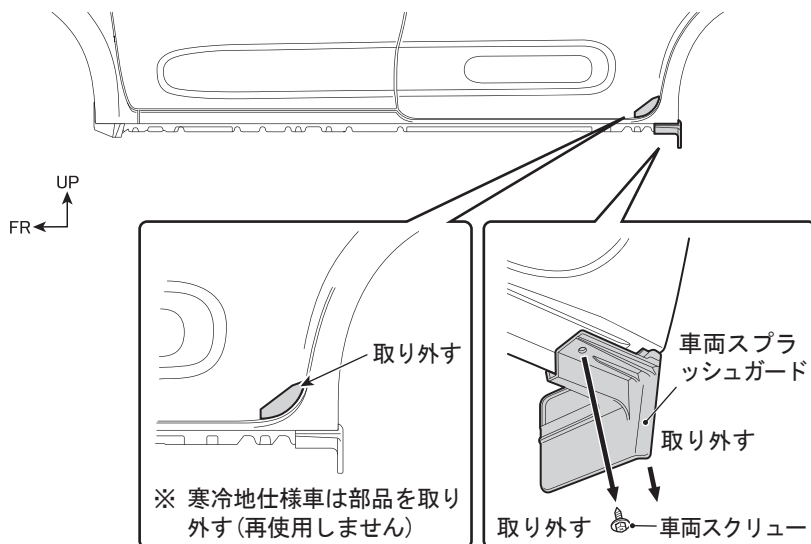
取付概要

LH図示



取付手順

(1) 部品の取り外し



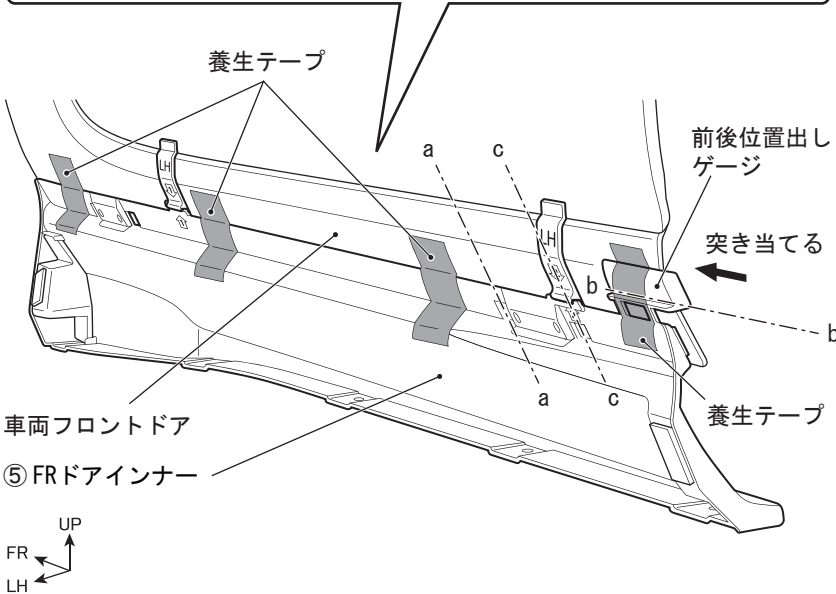
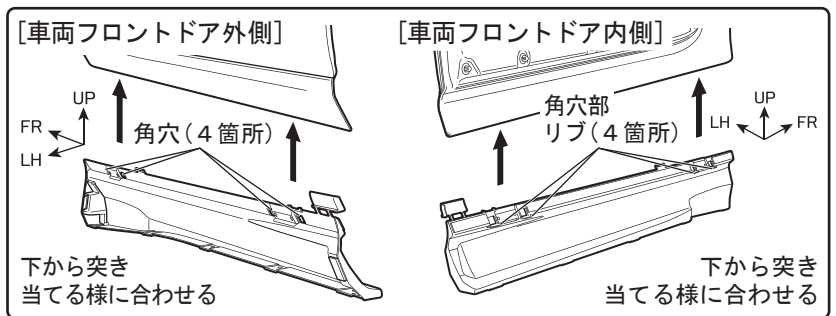
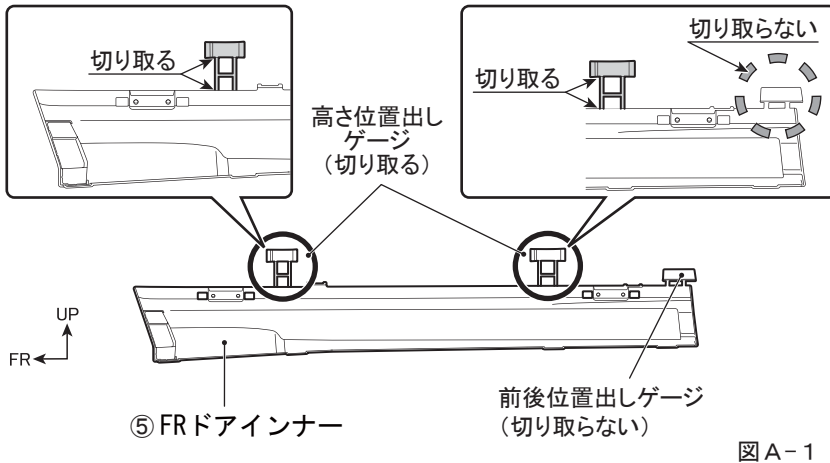
1. スプラッシュガードが装着されている車両は、車両スクリューを取り外しスプラッシュガードを取り外す。
(左図参照)

アドバイス

取り外した車両スクリュー及び車両スプラッシュガードは再使用しますので紛失しない様に注意して下さい。

(2) FRドアインナーの仮組

LH図示 ※RHも同様に



※車両フロントドアを開けた方が作業、確認がしやすくなります。

ドアの開閉の際は車両に傷つけない様に周囲には十分注意して下さい。

- ⑤ FRドアインナーの高さ位置出しゲージを切り取る。 (左図参照)

アドバイス

- このとき前後位置出しゲージは残しますので切り取らない様に注意して下さい。
- 切り取った高さ位置出しゲージは再使用しますので紛失しない様に注意して下さい。

- ⑤ FR ドアインナーの角穴部リブ (4箇所) を車両フロントドア下端末に下から突き当てる様に合わせる。 (図A-1参照)

(図A-1参照)

- ⑤ FR ドアインナーの前後位置出しゲージ部を車両フロントドア後端末に後ろから突き当てる様に合わせる。 (左図参照)

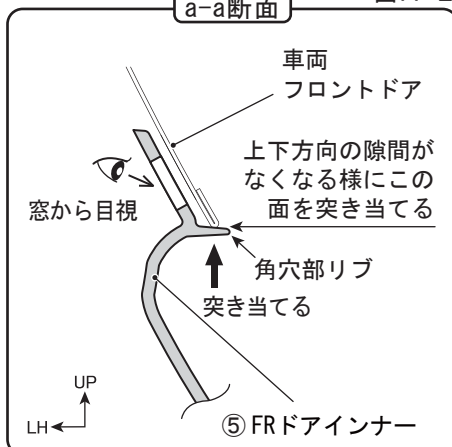
※角穴部リブ及び前後位置出しゲージが車両フロントドア端末に隙間なく当たっていることを確認して養生テープで仮固定する。 (図A-2、3参照)

- 手順1で切り取った高さ位置出しゲージを⑤FR ドアインナーの上側凹部に番号を合わせて差し込み、車両の形状に合わせて、⑤FRドアインナーの上面が高さ位置出しゲージに隙間なく当たっているか確認し、ズレている場合は養生テープを剥がし、位置を調整して仮固定する。 (左図、図A-4参照)

- 高さ位置出しゲージの上端末にマスキングテープを貼り付ける。
※ドアアウターの高さ位置出しのため。

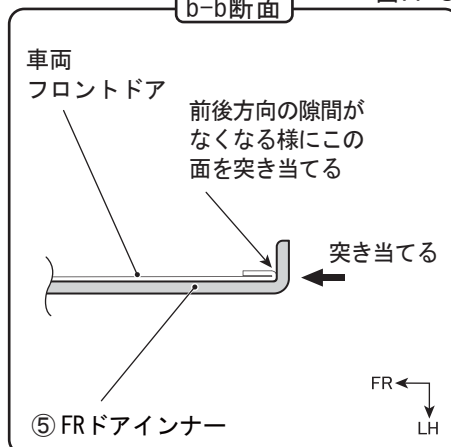
a-a断面

図A-2



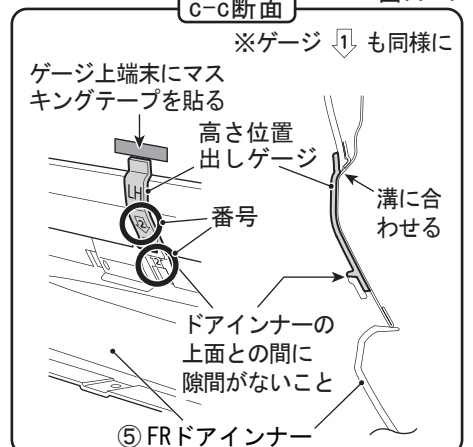
b-b断面

図A-3



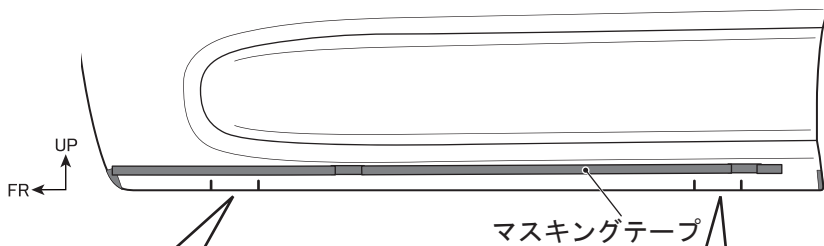
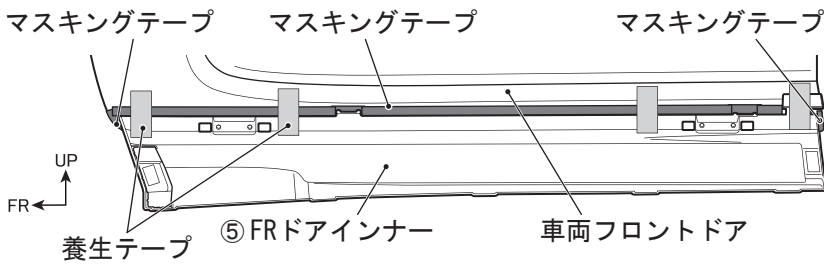
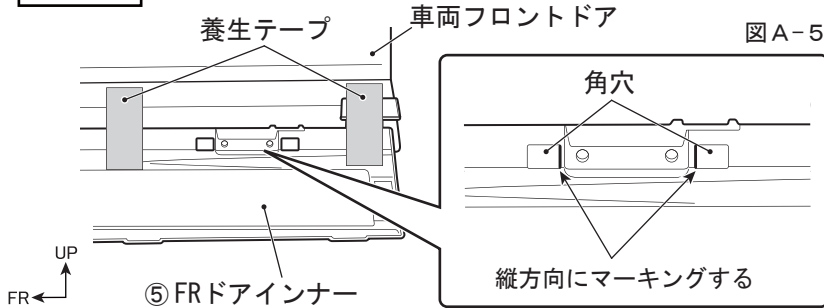
c-c断面

図A-4



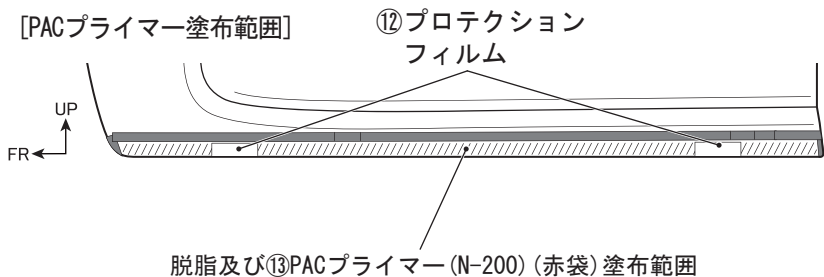
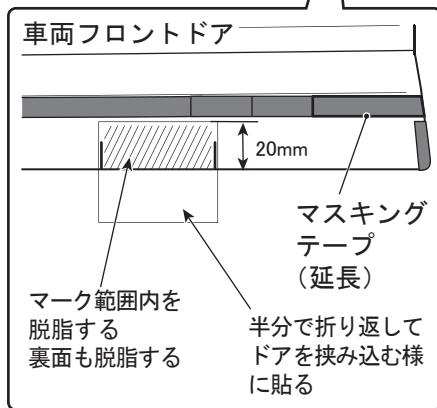
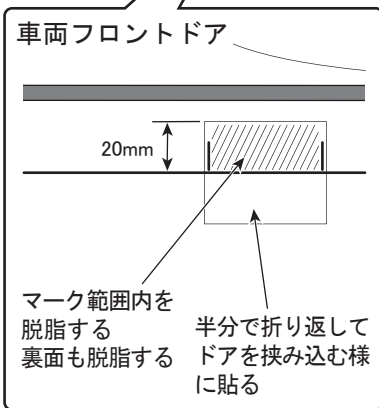
(3) 脱脂とプライマーの塗布

LH図示 ※RHも同様に



図A-6

図A-7



1. ⑤FR ドアインナーの角穴の内側に沿って左図の位置にマーカー等で、車両フロントドアにマーキングする。(4箇所) (図A-5 参照)

2. ⑤FR ドアインナーの外周に沿って、上辺及び前後縦辺にマスキングテープを貼る。(左図参照)

アドバイス

マスキングテープは後の作業でプライマーを塗布する際、必要範囲以外を保護する為のものです。

3. ⑤FR ドアインナーを取り外し、車両フロントドアのマーク内を一方向に拭いて脱脂し、⑫プロテクションフィルムを貼り付ける。(4箇所)

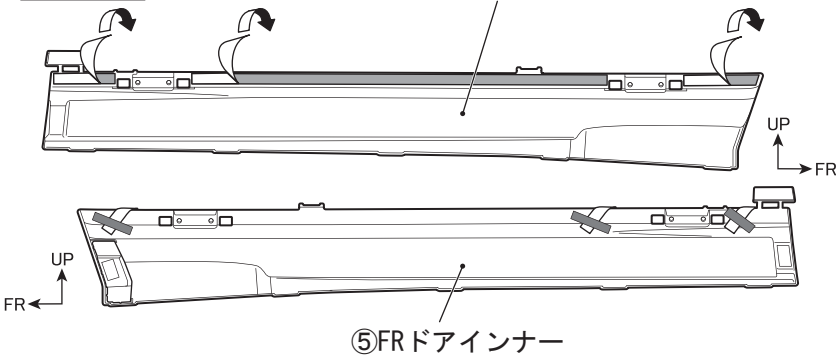
4. 前後位置出しゲージ部で隠れていた箇所に延長してマスキングテープを貼る。(図A-6、7 参照) マスキングテープで囲んだ範囲(斜線部)内を一方向に拭いて脱脂し、⑬PACプライマー(N-200)を塗布する。(左図参照)

5. マスキングテープを剥がす。

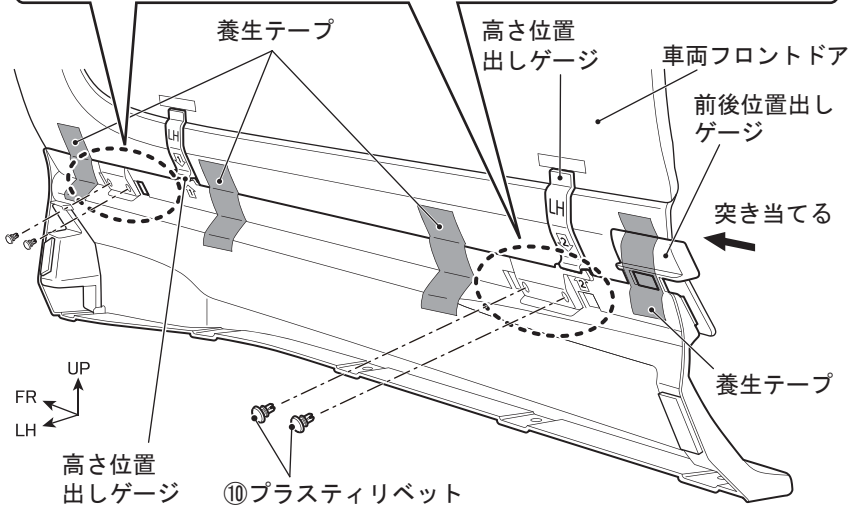
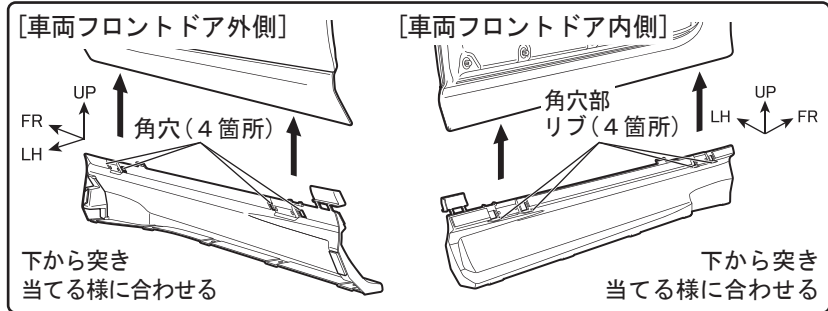
(4) FRドアインナーの取り付け

LH 図示 ※RHも同様に

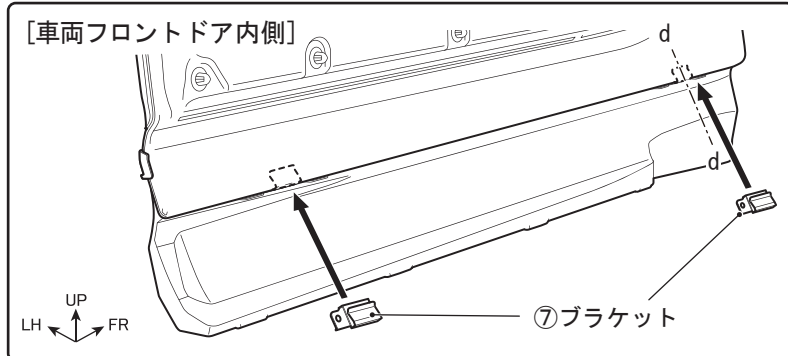
⑤FRドアインナー (裏面)



図A-1

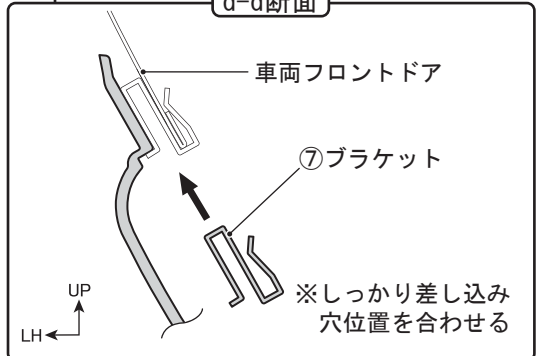


図A-8



d-d断面

図A-9

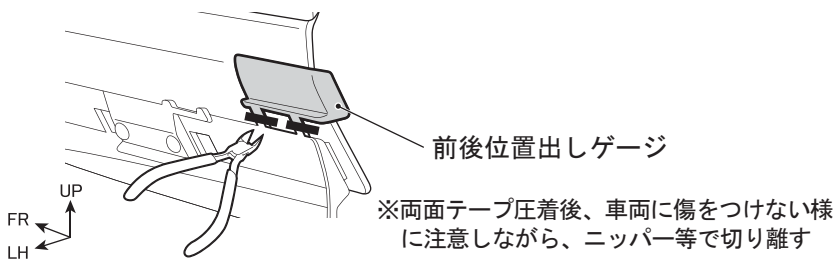
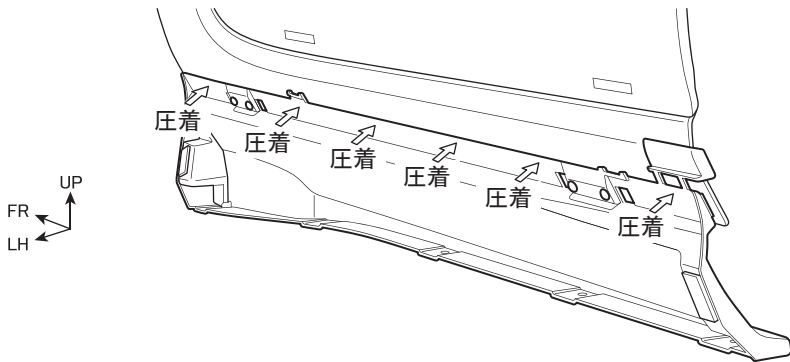
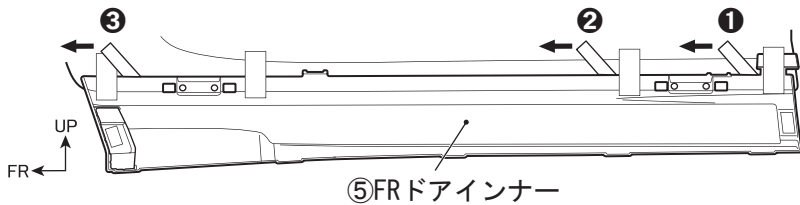


1. ⑤FR ドアインナーの車両側の両面テープ離型紙を一部剥がし、表側に折り返して、マスキングテープで貼り付ける。(左図参照)

2. ⑤FR ドアインナーを、仮組の手順で車両フロントドアに合わせ、取り付け位置を確認して、養生テープで仮固定する。(左図、A-1参照)

3. 角穴部リブの間で、車両フロントドアに⑦ブラケットを下方から差し込み、穴位置を合わせ⑩プラスティリベットを差し込み固定する。(左図、図A-8、9参照)

LH図示 ※RHも同様に



4. 取り付け位置が変わらない様に注意して、両面テープ離型紙を左図①から順に矢印の方向に引き抜き、圧着する。
(左図参照)

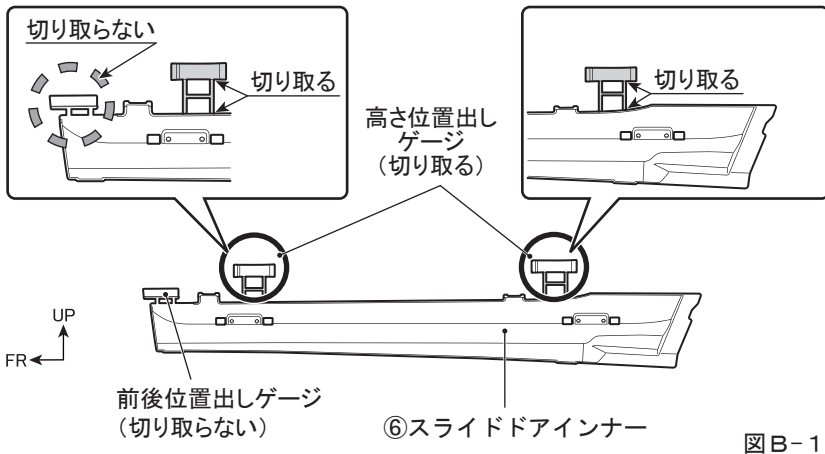
👉 アドバイス

- 両面テープの貼り直しをすると、接着力が極端に低下します。車両に付かない様に気を付けて作業をして下さい。
- 離型紙が途中で切れない様に、少し浮かしながら離型紙を引き抜いて下さい。
- 両面テープの圧着は、49N (5kgf) 程度の力で行って下さい。

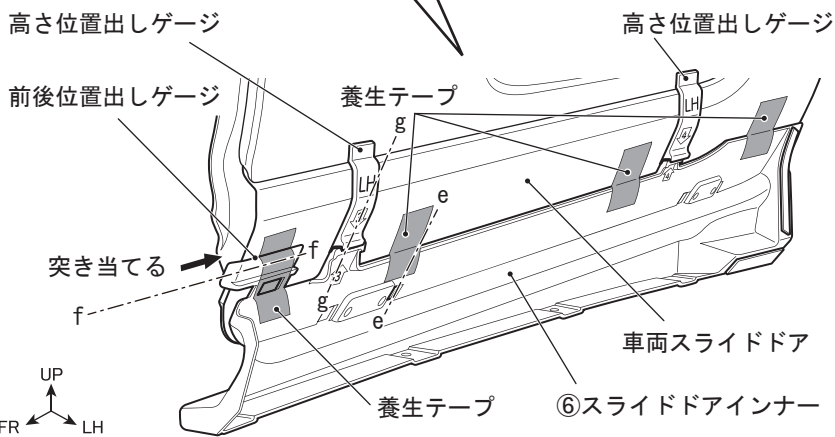
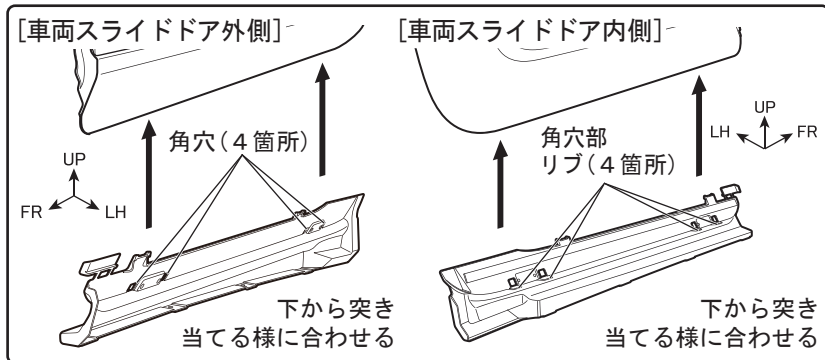
5. ⑤FR ドアインナーの前後位置出しゲージ部を、車両に傷をつけない様に注意しながら、ニッパー等で切り取る。
(左図参照)

(5) スライドドアインナーの仮組

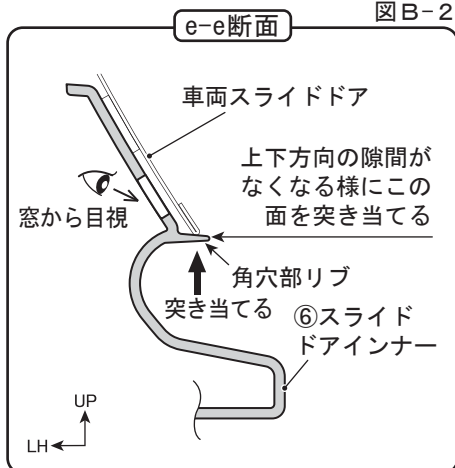
LH図示 ※RHも同様に



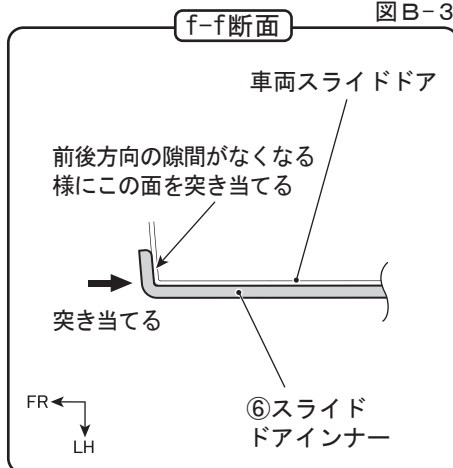
図B-1



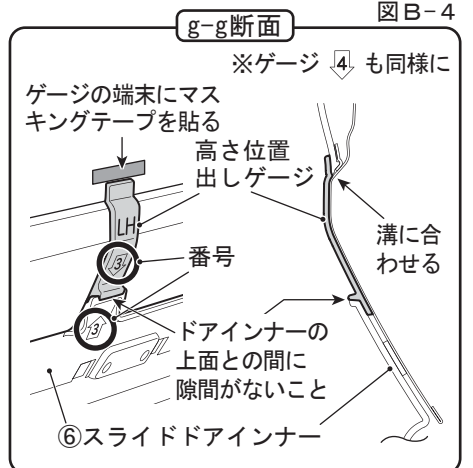
図B-2



図B-3



図B-4



※車両スライドドアを開けた方が作業、確認がしやすくなります。

ドアの開閉の際は車両に傷つけない様に周囲には十分注意して下さい。

- ⑥スライドドアインナーの高さ位置出しゲージを切り取る。(左図参照)

アドバイス

- ・このとき前後位置出しゲージは残しますので切り取らない様に注意して下さい。
- ・切り取った高さ位置出しゲージは再使用しますので紛失しない様に注意して下さい。

- ⑥スライドドアインナーの角穴部リブ(4箇所)を車両スライドドア下端末に下から突き当てる様に合わせる。(図B-1参照)

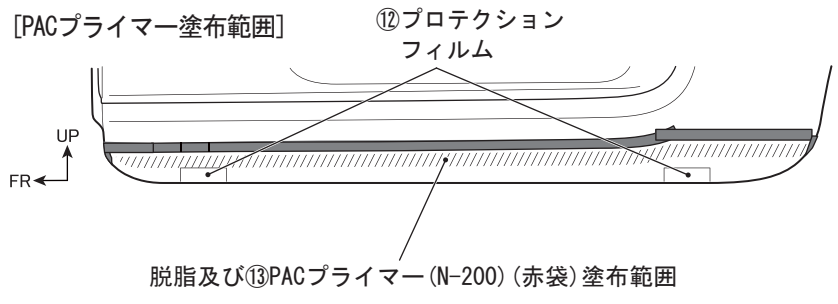
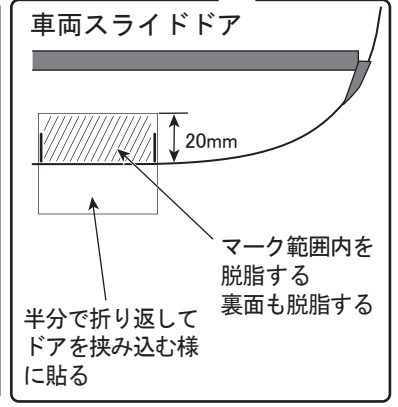
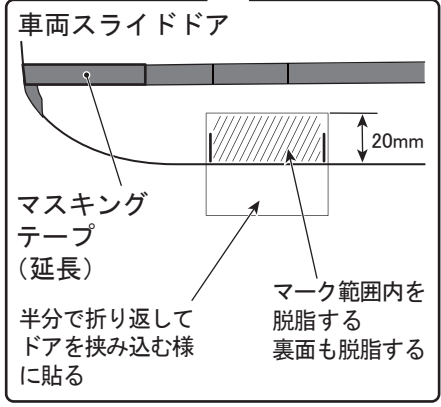
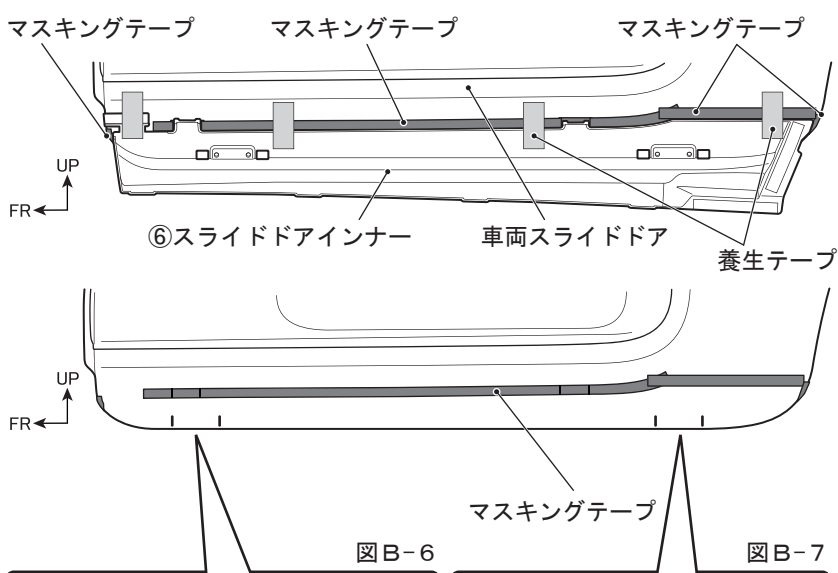
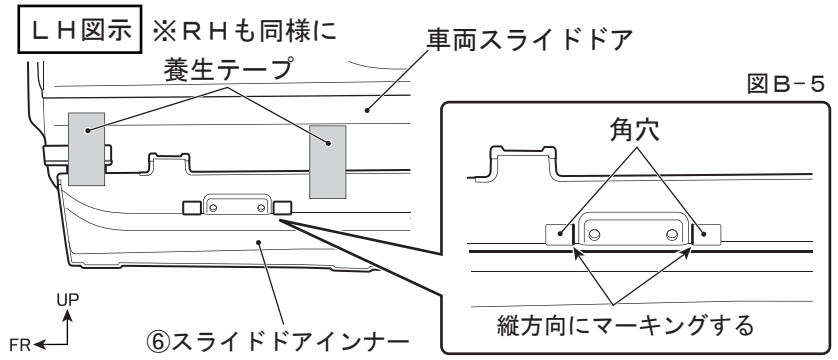
- ⑥スライドドアインナーの前後位置出しゲージ部を車両スライドドア前端末に前から突き当てる様に合わせる。(左図参照)

※角穴部リブ及び前後位置出しゲージが車両スライドドア端末に隙間なく当たっていることを確認して養生テープで仮固定する。(図B-2、3参照)

- 手順1で切り取った高さ位置出しゲージを⑥スライドドアインナーの上側凹部に番号を合わせて差し込み、車両の形状に合わせ、⑥スライドドアインナーの上面が高さ位置出しゲージに、隙間なく当たっていることを確認し、ズレている場合は養生テープを剥がし位置を調整して仮固定する。(左図、図B-4参照)

- 高さ位置出しゲージの上端末にマスキングテープを貼り付ける。
※ ドアアウターの高さ位置出しのため。

(6) 脱脂とプライマーの塗布



1. ⑥スライドドアインナーの角穴内側に沿って左図の位置にマーカ等で車両スライドドアにマーキングする。(4箇所) (図B-5参照)

2. ⑥スライドドアインナーの外周に沿って、上辺及び前後縦辺にマスキングテープを貼る。(左図参照)

アドバイス
マスキングテープは後の作業でプライマーを塗布する際、必要範囲以外を保護する為のものです。

3. ⑥スライドドアインナーを取り外し、車両スライドドアのマーク内を一方に拭いて脱脂し、⑫プロテクションフィルムを貼り付ける。(4箇所)

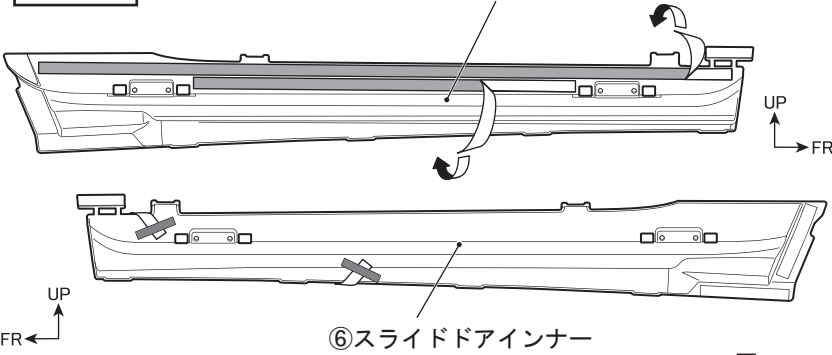
4. 前後位置出しゲージ部で隠れていた箇所に延長してマスキングテープを貼る。(図B-6、7参照) マスキングテープで囲んだ範囲(斜線部)内を一方に拭いて脱脂し、⑬PACプライマー(N-200)を塗布する。(左図参照)

5. マスキングテープを剥がす。

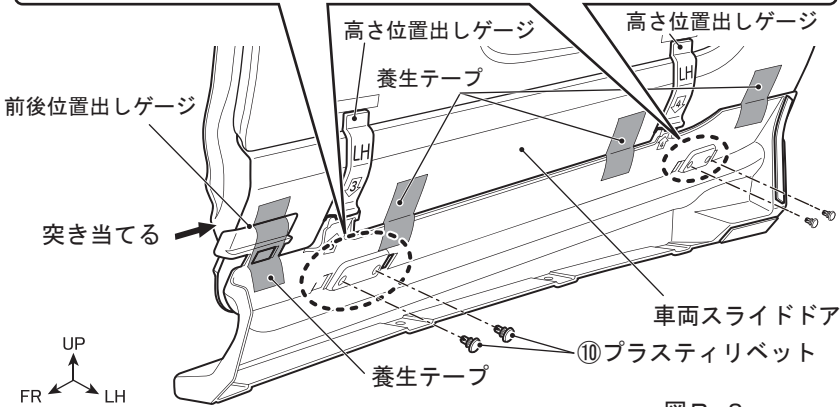
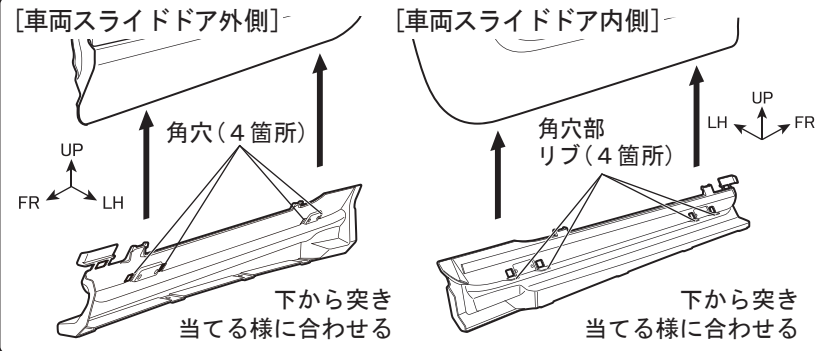
(7) スライドドアインナーの取り付け

LH図示 ※RHも同様に

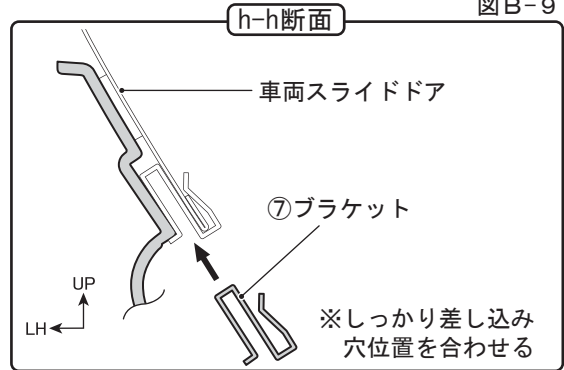
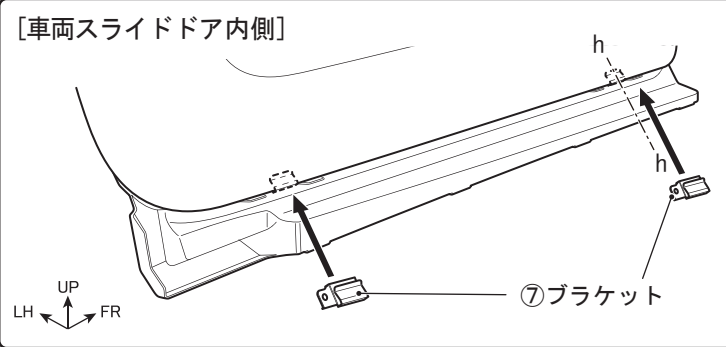
⑥スライドドアインナー (裏面)



図B-1

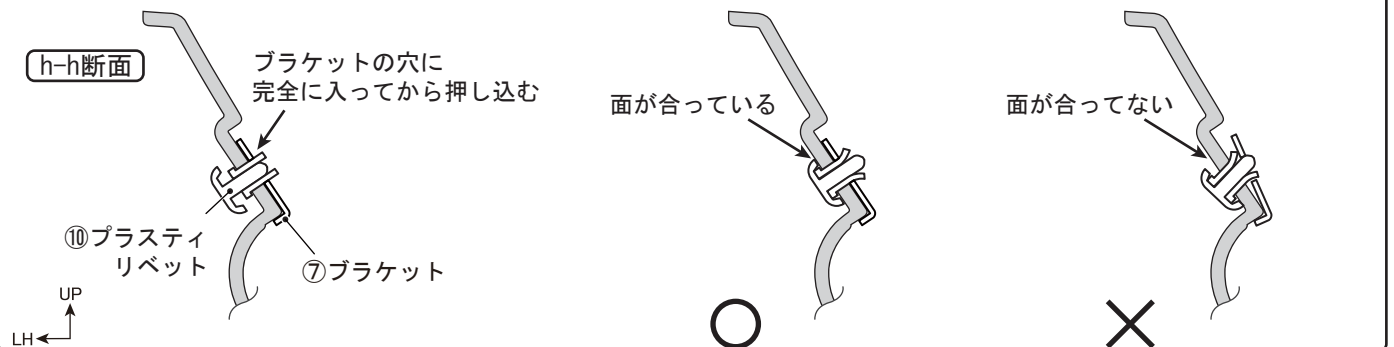


図B-8



図B-10

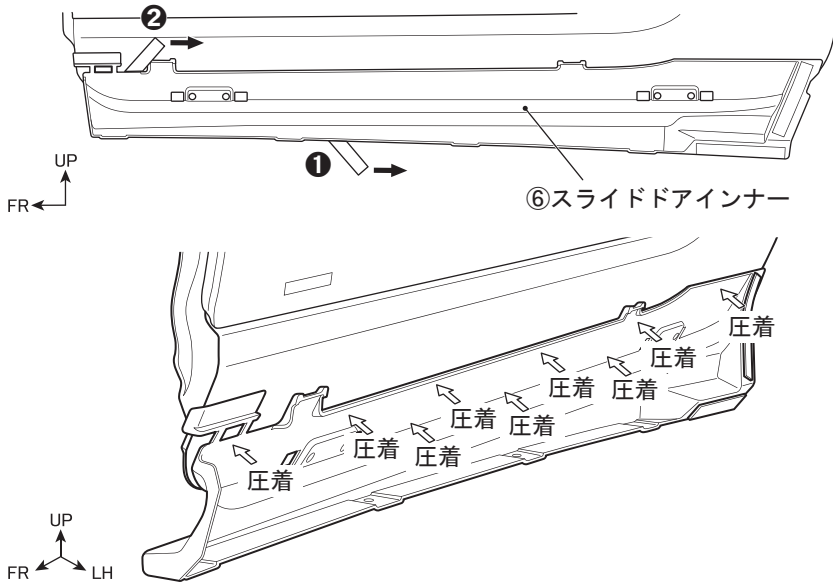
※⑩ プラスティリベット取付時の注意



- ⑥スライドドアインナーの車両側の両面テープ離型紙を一部剥がし、表側に折り返して、マスキングテープで貼り付ける。(左図参照)
- ⑥スライドドアインナーを、仮組の手順で車両スライドドアに合わせ、取り付け位置を確認して、養生テープで仮固定する。(左図、B-1参照)
- 角穴部リブの間で、車両スライドドアに⑦ブラケットを下方から差し込み、穴位置を合わせ⑩プラスティリベットを差し込み固定する。(左図、図B-8、9参照)

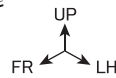
※⑩ プラスティリベット取付時の注意参照

LH図示 ※RHも同様に



前後位置出しゲージ

※両面テープ圧着後、車両に傷をつけない様に注意しながら、ニッパー等で切り離す



4. 取り付け位置が変わらない様に注意して、両面テープ離型紙を左図①から順に矢印の方向に引き抜き、圧着する。
(左図参照)

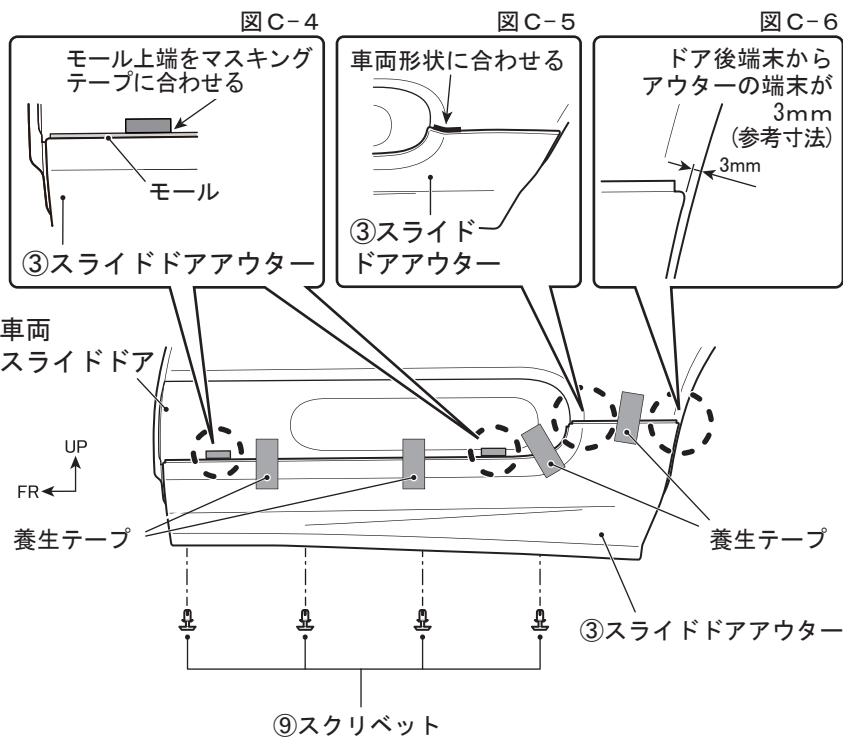
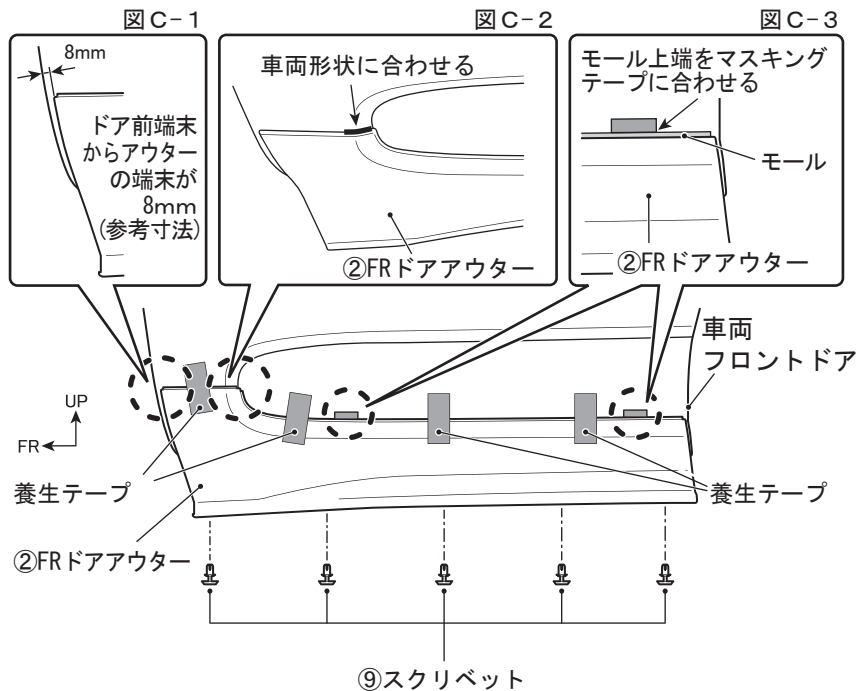
 **アドバイス**

- 両面テープの貼り直しをすると、接着力が極端に低下します。車両に付かない様に気を付けて作業をして下さい。
- 離型紙が途中で切れない様に、少し浮かしながら離型紙を引き抜いて下さい。
- 両面テープの圧着は、49N (5kgf) 程度の力で行なって下さい。

5. ⑥スライドドアインナーの前後位置出しゲージ部を、車両に傷をつけない様に注意しながら、ニッパー等で切り取る。
(左図参照)

(8) アウターの仮組

LH図示 ※RHも同様に



1. ②FR ドアアウターを、次の手順で位置決めし仮固定する。

- ②FR ドアアウターのモール上端を、車両フロントドアに貼り付けた高さ位置出しのマスキングテープに合わせる。(図C-3参照)

- 図C-2の太線部の形状を車両形状に合わせる。(図C-2参照)

- 車両フロントドア前端末から②FR ドアアウターの端末が、8mm (参考寸法) になることを確認し、養生テープで仮固定する。(図C-1、左図参照)

下面の穴 (5箇所) を⑨スクリベットで固定する。(左図参照)

2. ③スライドドアアウターを、次の手順で位置決めし仮固定する。

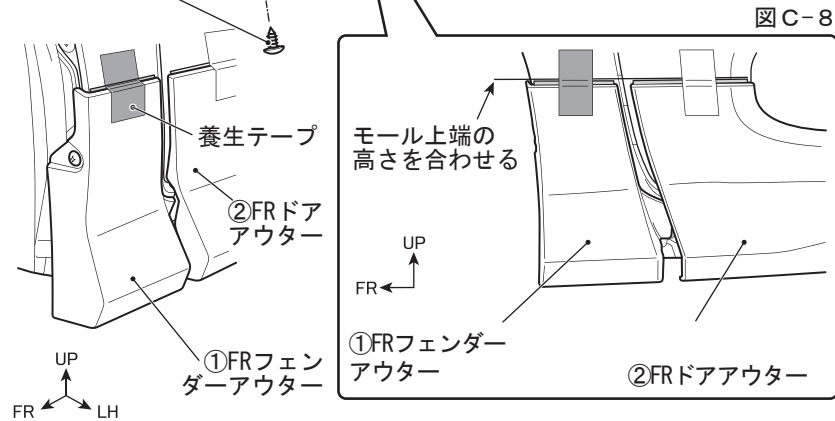
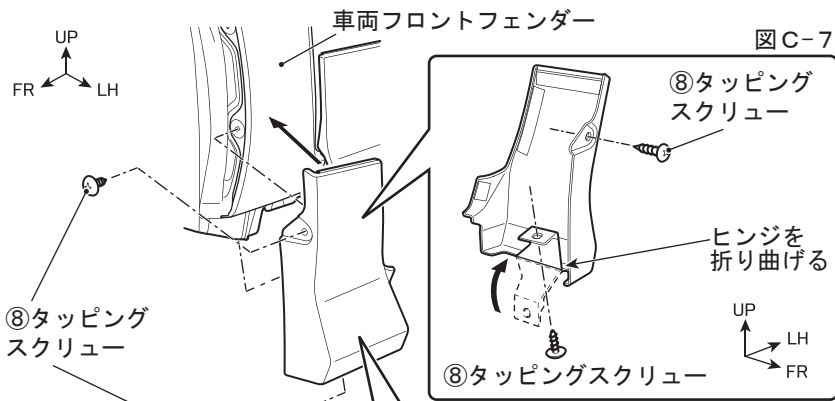
- ③スライドドアアウターのモール上端を、車両スライドドアに貼り付けた高さ位置出しのマスキングテープに合わせる。(図C-4参照)

- 図C-5の太線部の形状を車両形状に合わせる。(図C-5参照)

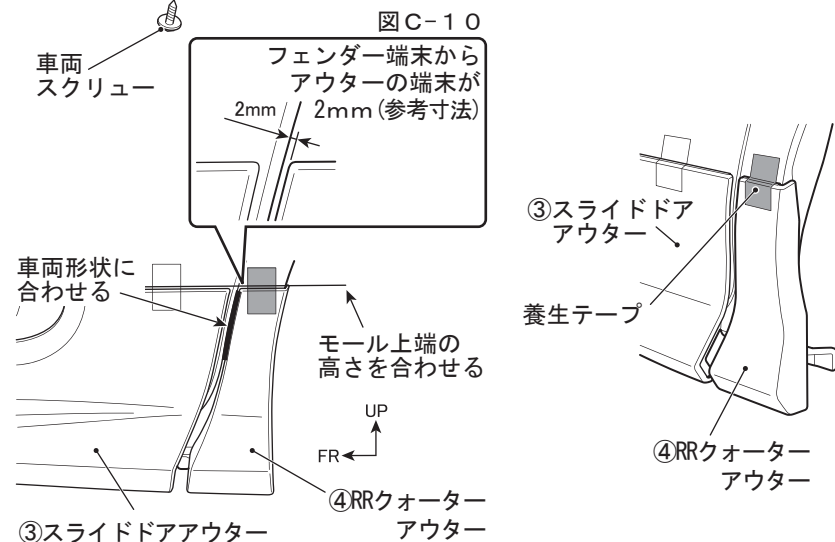
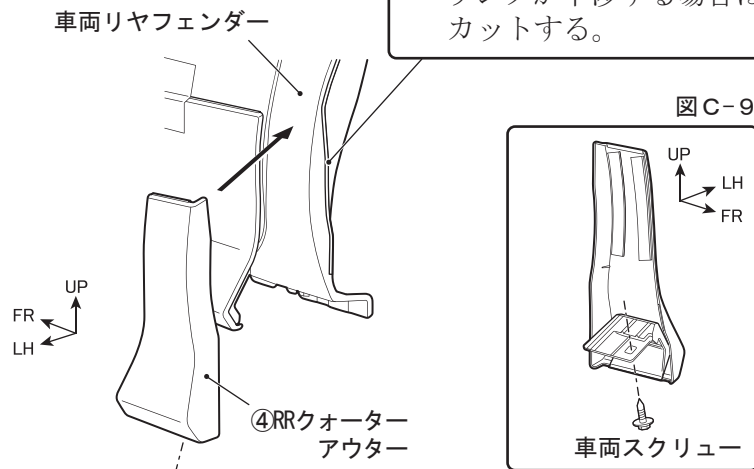
- 車両スライドドア後端末から③スライドドアアウターの端末が、3mm (参考寸法) になることを確認し、養生テープで仮固定する。(図C-6、左図参照)

下面の穴 (4箇所) を⑨スクリベットで固定する。(左図参照)

LH図示 ※RHも同様に



※ 車両リヤフェンダーのシーリングが干渉する場合は、カットする。



3. ①FR フェンダーアウター下部のヒンジを折り曲げ、車両フロントフェンダー下面のグロメットに⑧タッピングスクリューで仮締めする。車両タイヤハウス面のグロメットに⑧タッピングスクリューで仮締めする。(図C-7参照)

モール上端を、②FR ドアアウターのモール上端と高さを合わせ、養生テープで仮固定する。(図C-8参照)

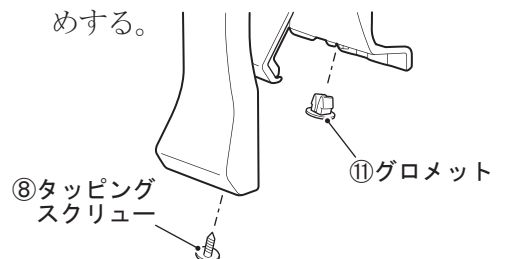
4. ④RR クォーターアウターを、車両リヤフェンダーに車両から取り外したスクリューで下面から仮締めする。(図C-9参照)

アドバイス

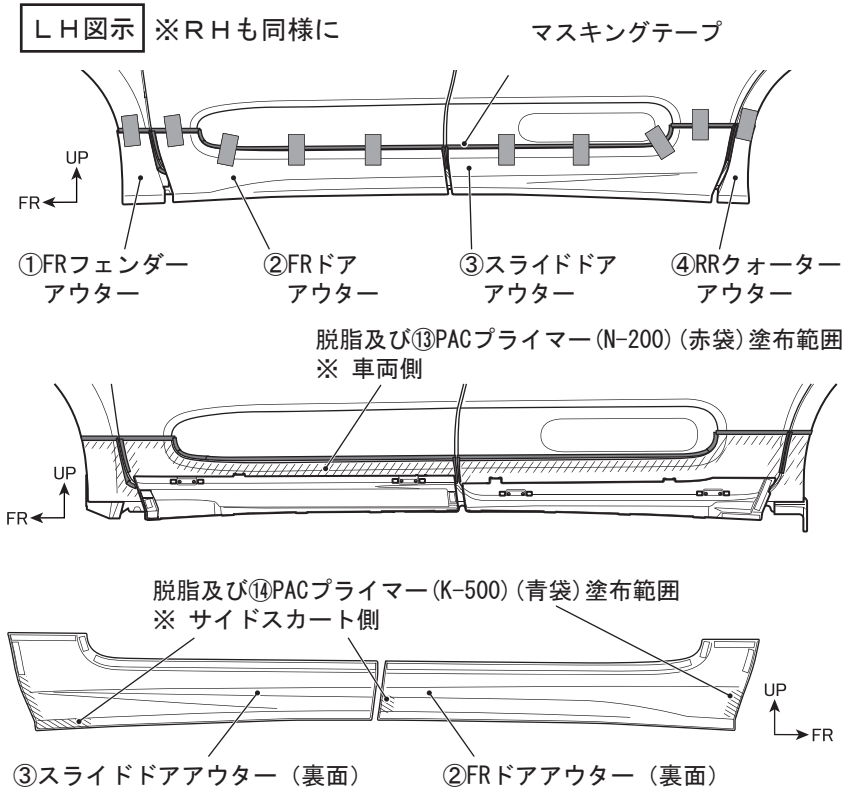
- ・シーリングをカットする際はケガをしない様、注意して作業して下さい。
- ・車両に傷をつけない様、十分に注意して下さい。万一車両鉄板面が出てしまった場合は、タッチアップ等で防錆処理を行なって下さい。

図の太線部の形状を車両形状に合わせモール上端を③スライドドアアウターのモール上端と高さを合わせて、車両リヤフェンダー端末から③スライドドアアウターの端末が、2mm (参考寸法)になる様に、養生テープで仮固定する。(左図、図C-10参照)

※ 車両スプラッシュガード非装着車は車両の取付穴に⑪グロメットを差し込み⑧タッピングスクリューで仮締めする。

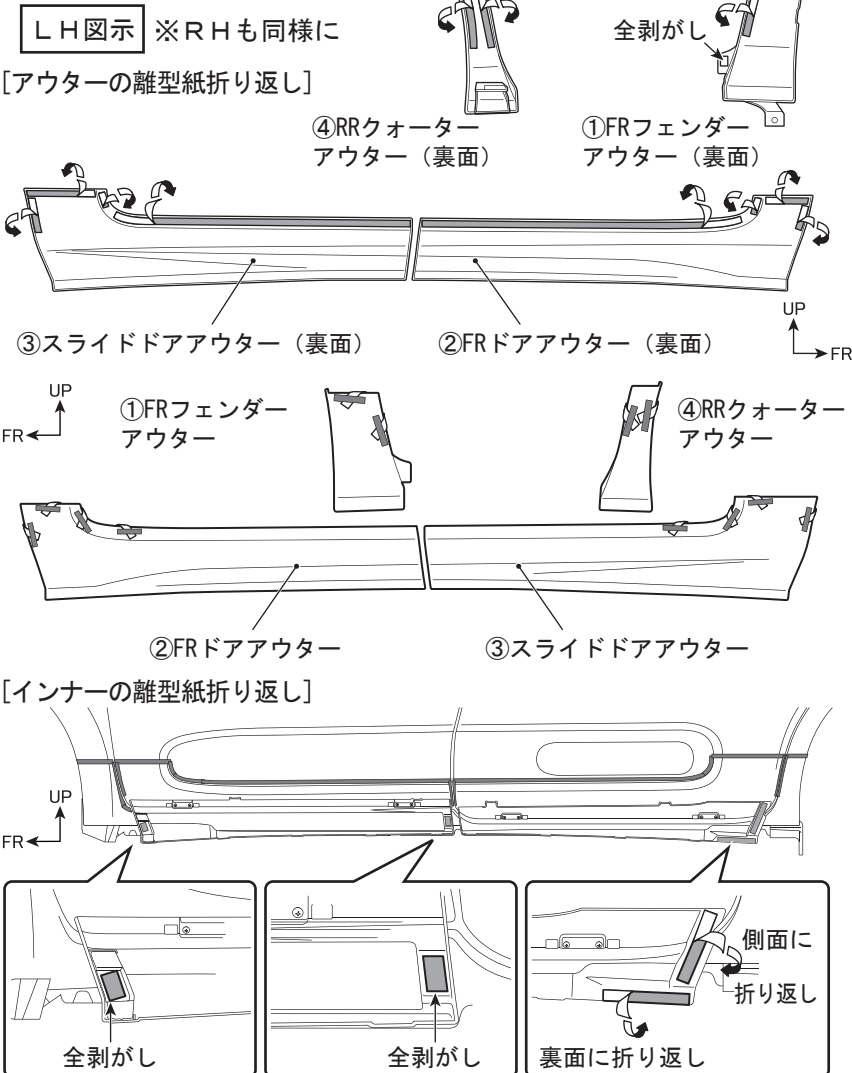


(9) 脱脂とプライマーの塗布



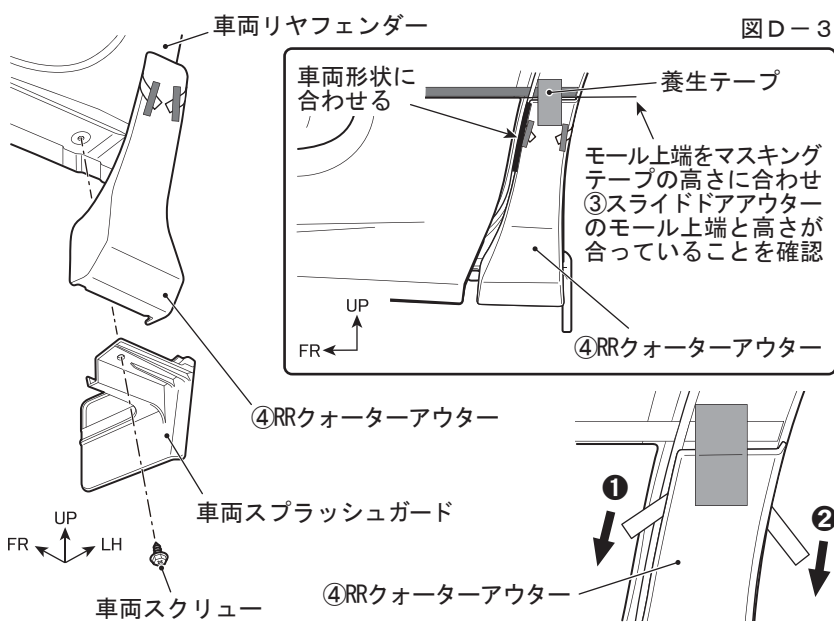
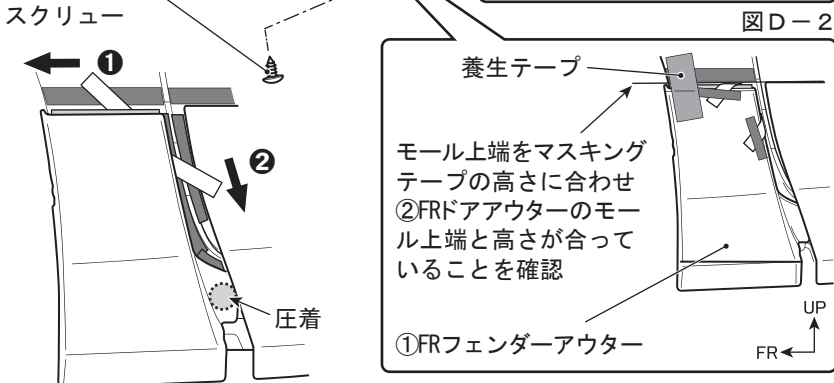
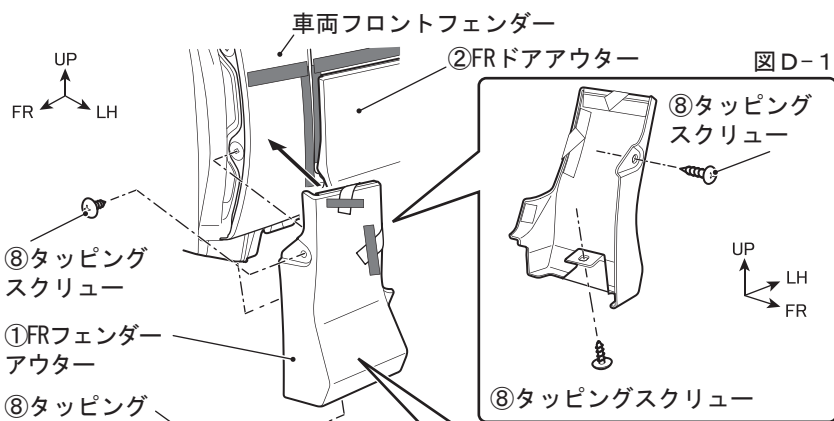
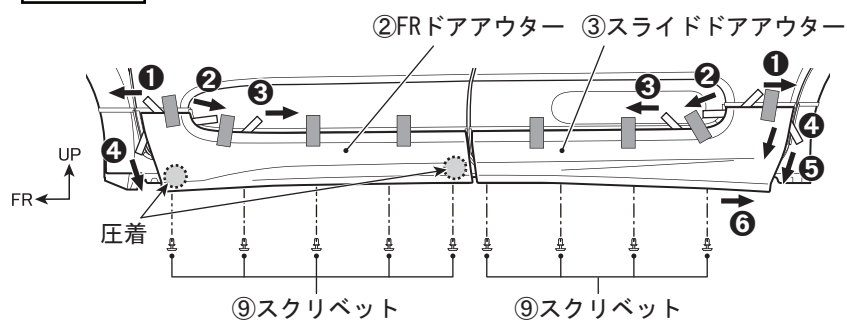
- ①FR フェンダーアウター、②FR ドアアウター、③スライドドアアウター、④RRクォーターアウターのモール上端と側面端末に合わせて、車両にマスキングテープを貼る。(脱脂、プライマーの為)(左図参照)
- ①FR フェンダーアウター、②FR ドアアウター、③スライドドアアウター、④RRクォーターアウターを取り外し、マスキングテープで囲んだ範囲(斜線部)を一方方向に拭いて脱脂し、斜線部に⑬PACプライマー(N-200)を塗布する。(左図参照)
- ②FR ドアアウター(裏面)、③スライドドアアウター(裏面)の、インナー両面テープ貼り付け部(斜線部)を一方方向に拭いて脱脂し、斜線部ケガキ内に⑭PACプライマー(K-500)を塗布する。

(10) アウターの取り付け



- ①FR フェンダーアウター、②FR ドアアウター、③スライドドアアウター、④RRクォーターアウターの両面テープ離型紙を一部剥がし、表側に折り返して、マスキングテープで貼り付ける。(左図参照)
- ⑤FR ドアインナー、⑥スライドドアインナーの両面テープ離型紙を一部剥がし、インナー側面または裏面に折り返して、マスキングテープで貼り付ける。(左図参照)

LH 図示 ※RHも同様に

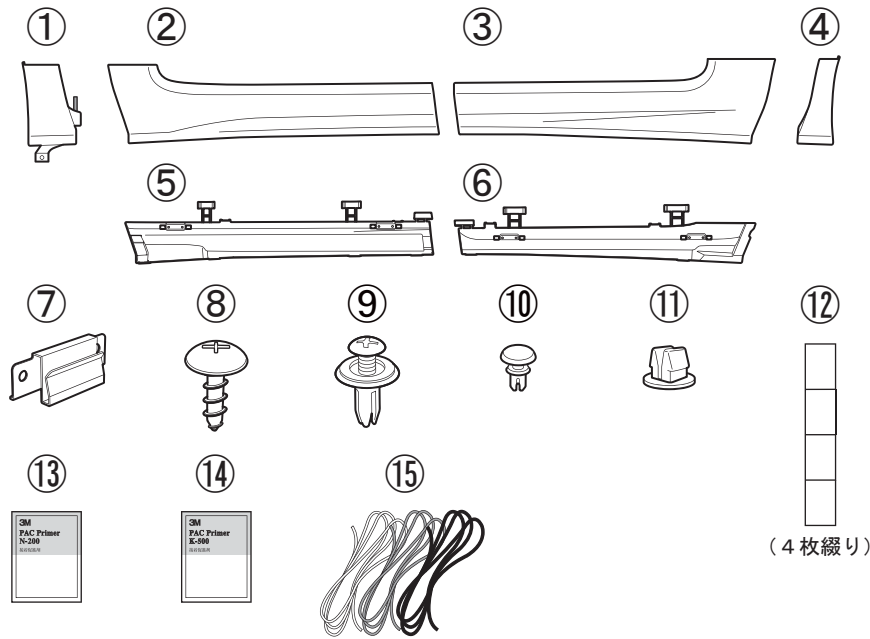


6. RH 側も同様の手順にて取り付ける。
7. マスキングテープを全て剥がす。
8. 取り付けた両面テープ貼り付け位置を、再圧着する。
9. 両面テープ貼り付け後、3時間以上放置してから仮締めを本締めする。

2. ②FR ドアアウターを仮組の手順で合わせて取り付け、位置が変わらない様に両面テープ離型紙を①から順に矢印の方向に引き抜いて圧着する。●部をインナーと挟み込む様にして圧着する。(左図参照)
 3. ③スライドドアアウターを仮組の手順で合わせて取り付け、位置が変わらない様に両面テープ離型紙を①から順に矢印の方向に引き抜いて圧着する。●部はインナーと挟み込む様にして圧着する。(左図参照)
 4. ①FR フェンダーアウターを、車両フロントフェンダー下面のグロメットに⑧タッピングスクリューで仮締めする。車両タイヤハウス面のグロメットに⑧タッピングスクリューで仮締めする。(図D-1参照)
 - ・モール上端を、マスキングテープの高さに合わせ、②FR ドアアウターのモール上流と高さが合っていることを確認して、養生テープで仮固定する。(図D-2参照)
 - ・取り付け位置が変わらない様に注意し、両面テープ離型紙を①から順に矢印の方向に引き抜いて圧着する。●部を圧着する。(左図参照)
 5. 車両リヤフェンダーに④RR クォーターアウターを被せ、車両スプラッシュガードを下面にあてがい、車両スクリューで挟み込み仮締めする。(左図参照)
- ※ 車両スプラッシュガード非装着車は⑧タッピングスクリューで仮締めする。
- ・仮組の手順で取り付け位置を合わせて養生テープで仮固定する。(図D-3参照)
 - ・取り付け位置が変わらない様に注意し、両面テープ離型紙を①、②の順で矢印の方向に引き抜いて圧着する。(左図参照)

サイドスカート素地品の塗装手順

構成部品



No.	品名	個数
①	FRフェンダーアウター (RH/LH)	各 1
②	FRドアアウター (RH/LH)	各 1
③	スライドドアアウター (RH/LH)	各 1
④	RRクォーターアウター (RH/LH)	各 1
⑤	FRドアインナー (RH/LH)	各 1
⑥	スライドドアインナー (RH/LH)	各 1
⑦	ブラケット	8
⑧	タッピングスクリュー (M6×16)	6
⑨	スクリベット	1 8
⑩	プラスチックリベット	1 6
⑪	グロメット	2
⑫	プロテクションフィルム	2
⑬	PACプライマー (N-200)	1
⑭	PACプライマー (K-500)	1
⑮	エンドモール	リグレー : 2 グレー : 2 ブラック : 2

塗装作業

1. 塗装面の汚れ、ゴミ、ホコリをウエスで取り除き、必ず脱脂を行なう。
2. 製品に貼り付けてある両面テープをマスキングする。
3. プライマー塗装を行なう。



アドバイス

本製品の素材には難付着性の>PP<を使用している為、必ずPP用プライマーを塗布して下さい。

4. 上塗り塗装を行なう。
◎注記：上塗り用の塗料はウレタン系をご使用下さい。
5. 乾燥。
◎注記：乾燥温度は、成形樹脂の物性上、必ず60℃以下で乾燥させて下さい。

⑮エンドモール推奨使用色

色番号	色名称	モール色
070	ホワイトパールクリスタルシャイン	ライトグレー
089	プラチナホワイトパールマイカ	ライトグレー
202	ブラック	ブラック
1L7	ダークグレー	ブラック
3U4	スカーレットメタリック	ブラック
4V6	ベージュ	グレー
6X3	アーバンカーキ	グレー
8W2	グレイッシュブルー	グレー
2WR	スカーレットメタリック×ダークグレー	ブラック
2WU	アーバンカーキ×ダークグレー	グレー
2WV	グレイッシュブルー×ダークグレー	グレー

エンドモールの貼り付け作業

1. 塗装完了後、⑮エンドモールを貼り付ける部分を脱脂し、⑭PACプライマー(K-500)を塗布する。

PACプライマー(K-500)塗布範囲



アドバイス

- ⑭PACプライマー(K-500)はサイドスカート取り付け時に再使用します。揮発性が高いので、速やかに袋に戻し揮発を抑えて下さい。
- ⑭PACプライマー(K-500)は特に白色塗装面を黄変させますので、マスキングするか、はみ出したプライマーは、イソプロピルアルコール(IPA)等で拭き取って下さい。
- ⑭PACプライマー(K-500)塗布後は、常温で**10分間**以上放置し乾燥させて下さい。

2. 下図の要領で⑮エンドモールを貼り付ける。

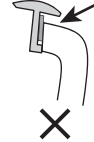
アドバイス

- エンドモールを引っ張りながら貼ると、極端に剥がれやすくなります。**絶対に引っ張りながら貼らないで下さい。**
- エンドモールは必ず奥まで差し込んで下さい。
- 貼り付け後、十分に圧着して下さい。

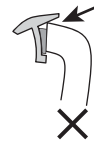
奥まで押し込む



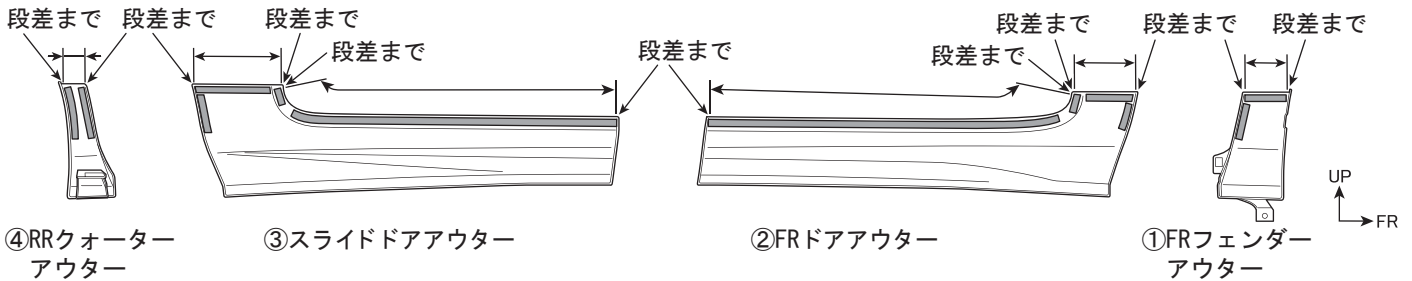
隙間が空いている



傾いている



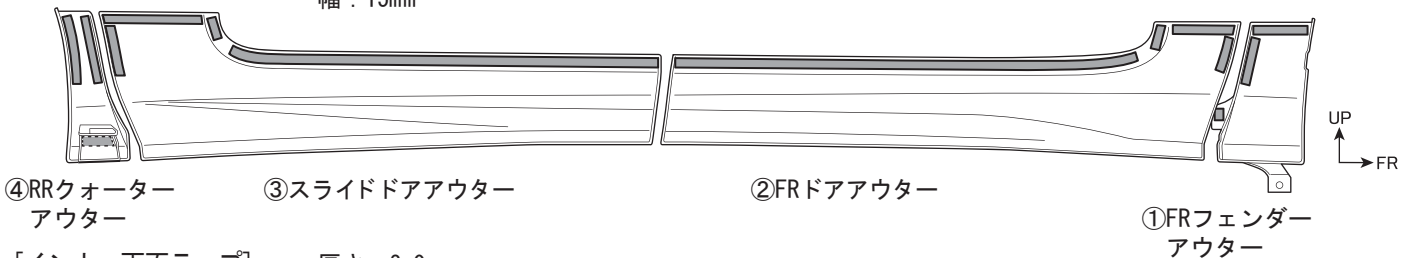
⑮エンドモール貼り付け位置



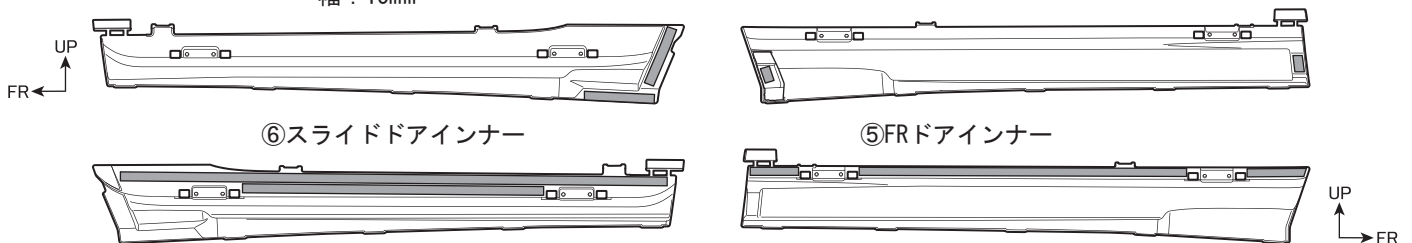
補修キット両面テープ貼り付け

補修キットを使用してサイドスカートの再取付を行なう際は、下図を参考に両面テープを選択し貼り付けて下さい。

[アウター両面テープ] 厚さ：2.5mm
幅：15mm



[インナー両面テープ] 厚さ：2.0mm
幅：15mm



脱脂作業要領書

本書ではエアロパーツ等を取付ける際の脱脂作業について記載してあります。
取付け前に必ずお読みいただき、正しい要領で脱脂作業を行ってください。

エアロパーツの取付け・脱脂作業の要領を
解説動画でご覧いただけます。
右のQRコードよりアクセスのうえ
ご確認ください。

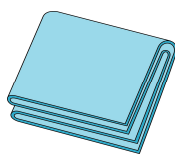


- ①エアロ取付準備・脱脂 (約3分)
 - ②エアロ位置決め・取付・圧着 (約6分)
 - ③デカール準備・水貼り・圧着 (約4分)
- 合計 約13分

■ 取付け時の脱脂作業に必要な工具等



水拭き用バケツ



合成セーム皮



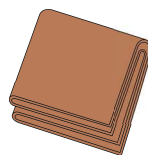
脱脂剤用
スプレーボトル



ゴム手袋



DRY 用
ウエス




WET 用
ウエス




イソプロピルアルコール(IPA)
純度 70%程度を推奨
※純度 100%はモールを痛めるため
使用しないこと

■ 脱脂作業上の注意事項

1. ホコリ・チリ等のない換気の良い作業場で作業を行ってください
2. 隣接する場所で、ワックスがけやポリッシュ作業等を行わないで下さい。
※飛散した油脂やワックス等の成分が車両に付着してしまいます。
3. 脱脂剤を取り扱いの際は、眼・皮膚に触れないように保護具を着用のこと。
4. 脱脂剤を取り扱いの際は、作業場に火気・熱源のないことを確認すること。
5. 脱脂剤を取り扱いの際は、蒸気を吸い込まないように作業場内の換気に注意のこと。

 注 意・・・注意事項を守らないと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷する等のおそれがあることを記載しています。

 アドバイス・・・スピーディーに確実に作業していただく上で、知っておいていただきたいことを記載しています。



使用禁止



ブレーキクリーナー
パーツクリーナー



ホームセンター等でキャンプ用
燃料用として販売されている
ホワイトガソリン〔白ガス〕

市販のブレーキ・パーツクリーナー及びキャンプ用品や燃料用のホワイトガソリンは
油脂分や不揮発性添加物が含まれているものがありますので使用しないで下さい。
コーティング剤の下地処理剤は、用途と異なるため脱脂作業には使用しないで下さい。
脱脂不足により、浮き・ハガレの原因となります。

★脱脂作業概要《重要》

◎【脱脂作業】とは、取付け面の表面に付着した油脂分を取り除き、両面テープの性能を十分に発揮させるための重要な下地処理です。

下地処理が不十分だと、両面テープの性能が著しく低下して、浮き・ハガレ脱落などの不具合を起こす場合があります。

大変に重要な作業となりますので確実に行ってください。

◎ 脱脂剤は、取付け面に付着した油脂分を浮かび上がらせて、ウエスへの吸着を促す溶剤です。

脱脂剤で取付け面を拭いただけでは、十分な脱脂は行えません。

《脱脂作業前に》以降の作業要領を十分に理解したうえで作業を行ってください。

■ 脱脂作業前に

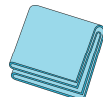
- 取付け面のホコリ・チリ等の汚れを十分な流水で洗い流す。
汚れのひどい場合は、洗浄剤を使用して汚れを落とし、洗浄剤を十分に洗い流すこと。
- 取付け面にコーティング等を施工されている場合は、除去剤・コンパウンド等を使用し除去してください。除去後、十分に水洗いを行ってください。
※コーティング剤が残っていると両面テープはハガれます。
- 水洗い後は、取付け面に付いた水滴を完全にふき取ってください。

■ 脱脂作業要領

- 取付け面の洗浄を行い、固く絞った合成セーム革等を使用し拭き上げて水滴をしっかりと取り除く。

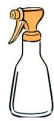


水拭き用バケツ



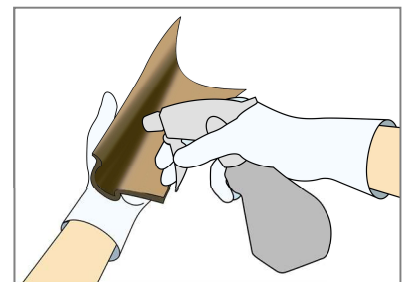
合成セーム皮

- スプレーボトルに入れた脱脂剤をWET用ウエスに吹きつける。



WET 用ウエス

※ ウエスは清潔なウエスを使用して、拭き上げ時にクズなどが出ない素材を選んでください。



WET 用ウエスにスプレーボトルを 5 cm ほど離して、初回は 10 回程度スプレーをして、ウエスが湿っている状態で取付け面を拭いてください。以降は WET ウエス表面が乾く前に追加で 5 回程度スプレーし、常に湿った状態を保つようにしてください。

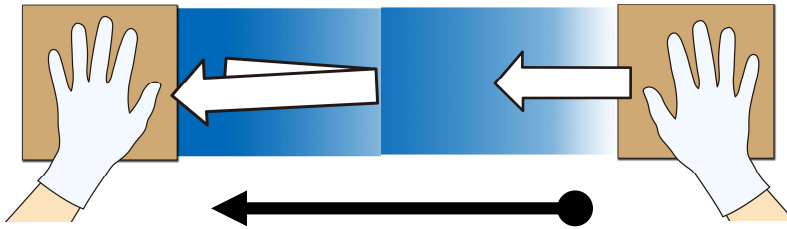
● 取付け面の脱脂作業を行う

①【WET 拭き】

脱脂剤を含ませたウエスで
1 往復で拭き油脂分を浮き上がらせる

②【DRY 拭き】

DRY 拭きウエスで一方向に
拭き上げ油脂分を取り除く



1 ブロック 60 cm 程度として両手に WET と DRY のウエスを交互に持ち
WET⇒DRY の順に拭き上げて脱脂する。

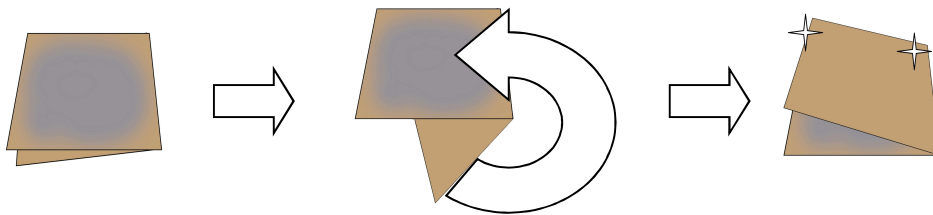
範囲が広い場合は 1 ブロック 毎を数回に分けて行い、仕上げに面を通して拭き上げる



WET 拭きのあと脱脂剤が乾かないうちに DRY 拭きで一気に拭き上げを
行ってください。

(上図のように両手にウエスを持ち作業を行うと素早く作業できます。)

DRY 拭き作業後に拭き上げた面に、拭き跡が残っている場合は油脂分が
残っていますので、再度 WET・DRY 拭きを行ってください。



WET/DRY のウエス共に 3～5 ブロック 毎にウエス表面を折り返し
ウエスの拭き取り面が常に清潔な状態で作業を行ってください。

汚れたままのウエスを使い続けると、ウエスに拭き取った油脂分が取付け面に
再び付着して、エアロパーツの浮き・ハガレの原因となります。

脱脂作業がしっかり行われている取付け面は、DRY 拭きを行った際に
ウエスへの抵抗が増して、拭き上げが重くなります。
作業前と作業後のウエスの抵抗感を目安に、脱脂を行ってください。

脱脂後の取付け面には、指などを触れないように作業を行ってください。

脱脂後は長時間放置せず、すぐに作業を行ってください。

チリ・ホコリ等が付着しないように、十分注意してください。
パーツの取り付け方法は、各パーツの取扱説明書ならびに取付要領書に
したがって行ってください。